

被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。当教育センターでは、山形の「いのちの教育」を応援し、推進します。

『山形教育』から 「いのちの教育」 関連記事一覧

	題名	執筆者	所属名(執筆当時)	掲載号	発刊年月	コーナー名	概要
1	生命を育む	渡會 常男	鶴岡市立鶴岡第四中学校	257	平成元年11月	随想	生命あるものを自らの手で育て上げる体験を重視し、自他の生命を尊重することをおして、自己教育力の育成を図る大切さを語る。
2	一粒のもみが教えてくれたもの	大地 やす子	村山市立富本小学校	258	平成2年1月	随想	稲作体験学習をおしての筆者の学びや思いを、一粒のもみが教えてくれたものとして、いのちの大切さや生き方について伝えている。
3	鮭	池田 和子	酒田市立第五中学校	258	平成2年1月	随想	「どんな子どもでも、この鮭のように必至になって頑張ろうとする気持ちをもっているものですね。」という倉澤栄吉氏のことばに感動した思いを伝えている。
4	「在り方 生き方」の指導	鈴木 栄三	山形県人事委員会委員	265	平成3年3月	特集	「教育とは、いかに生きべきかを教えることである」という原点に立ち戻り、学校教育の在り方や教師としての生き方について深く考察している。
5	全ての「もの」に生命を観る	庭崎 孝賢	最上三十三観音結願寺庭月観音住職	282	平成6年1月	教育の心	宗教者としてこの世界を見つめ、自然人としての人間の叡智の大切さを説き、ゆとりと潤沢の生命を展望する。
6	子どもたちに伝えたいもの	益田 敏夫	小国町立北部中学校	291	平成7年7月	随想	自然にかかわり自然からの贈り物を享受し、伝え合い、心豊かな子どもを育てていこうとする願いが込められている。
7	ぼくどこから生まれてきたの—親の答え、教師の答え—	土屋 正人	長井市立長井南中学校	299	平成8年11月	随想	性教育を視点として生き方を考えていく上で大切なことを明らかにしながら、学校と家庭それぞれの役割について考察する。
8	「山形の教育を語る」—21世紀の人づくり—	座談会:星寛治、林哲太郎、鈴木源太郎、森岡由起子、板垣正義、日野顕正		300	平成9年3月	座談会	5教振の作成に先立ち、21世紀の山形の教育について、広い立場から様々な貴重な提言をいただいている。
9	羽越水害のこと	星野 武雄	県立米沢工業高等学校	303	平成9年12月	教育いま、むかし	昭和42年8月28日に山形県で起こった未曾有の羽越水害。高等学校の教員として遭遇した作者の生々しい体験が綴られている。
10	新潟地震との遭遇	伊藤 孝紀	元鶴岡市立朝陽第一小学校	311	平成11年9月	教育いま、むかし	昭和39年6月16日に起こった新潟地震。小学校教員として現場にいた筆者が、その体験をリアルに伝えている。
11	旧制山高時代	明石 康	元国連事務総長特別顧問	314	平成12年6月	特別寄稿	旧制山高出身の筆者が、日本の今を見つめ、教育とは何かを見つめ、世代間の対話を提唱し、未来を見つめている。
12	酒田大火-昭和51年10月29日-「まさか」と「もしも」の思い	加藤 祐祥	元小学校長	315	平成12年9月	教育いま、むかし	昭和51年10月29日。酒田大火。筆者は当時酒田市教育委員会に奉職されていた。その時の記憶を生々しく伝えている。
13	いただきます	酒井 天美	致道博物館常務理事	316	平成12年12月	教育の心	家庭での食の視点や歴史的文化的観点から教育について考察し、山形がもつ自然の生命教育を進めることを提言している。
14	子供の心	アグネス チャン	歌手、エッセイスト、教育学博士	326	平成15年6月	特別寄稿	子供たちの未来のために生きる筆者の真摯な生き様と教育者としての人や子どもへの限りない愛情の大切さを語っている。
15	学級経営は心の教育の中心である	河村 茂雄	都留文科大学教授	330	平成16年6月	特集	人間関係、学級経営、不登校、学級崩壊などについて関連させ、心の教育を更に進めていく必要性と勇気を示唆してくれる。
16	自然が教えてくれること	毛利 衛	日本科学未来館館長	333	平成17年3月	特別寄稿	最先端技術を生み出してきた科学を、「生きるために長い歴史の中で培われてきたもの」と位置づけ、現代の教育において大切にしたいものを大いに示唆している。
17	「5教振」の具現化をめざして米沢市における小・中学校の事例をおして	舩田 忠雄	米沢市教育委員会教育長	337	平成18年3月	特集	5教振1年目。筆者が教育長としてたずさわった米沢市における「いのちの教育」の実際と未来への提言が示されている。
18	リスの死を通して	土田 美鈴	新庄市立萩野小学校	343	平成19年9月	随想	学級でリスを飼いその死に向き合った子どもたちの中で、学び合った「いのちの教育」について考察している。
19	本当に大切なものを伝えたい—山川喜一さんに聞く—	山形県教育センター	山川喜一氏 (有)蔵王マウンテンファーム経営	344	平成19年12月	こんにちは	農業と教育的効果を豊富な実体験や教育活動の中から考察し、体験活動の重要性など多くの示唆を与えている。
20	「心の教育を考える」—いのちについて—	長澤 俊樹	浄徳寺住職・浄徳幼稚園理事長	345	平成20年3月	教育いま、むかし	「いのち」についての根源的な問いにこたえ、三つの心の重要性を説き、心の教育を深く洞察している。
21	鳥海山の自然にふれて	斎藤 政広	写真家	346	平成20年6月	特集	長野県から酒田に居を移して四半世紀の筆者が、カメラのファインダーから山形の鳥海山の自然に見せられた。その感動が、私たちに山形を再発見させてくれる。
22	草木供養塔の思いを伝えて～道徳の授業の中で～	竹内 和子	米沢市立東部小学校	358	平成23年6月	おもしろ授業実践	特に草木塔の多い置賜地区。その草木塔を教材化した貴重な授業実践記録。山形らしい教育の未来を見つめさせる。

※ 記事の内容等については、当教育センターのカリキュラムサポートプラザにお問い合わせください。

FAX 023-654-2159 または E-mail kyouse-kensyu@pref.yamagata.jp にてお願いします。